

令和元年度

事業報告書

〔 常務理事 白根 幸典
職務執行状況報告を兼ねる。 〕

自 平成31年4月 1日

至 令和 2年3月31日

社会福祉法人 東京福社会

I 令和元年度の経営環境と事業の概況

- 1 令和元年、東京都の高齢者人口は 309 万 4 千人となり、対前年比では 1 万 7 千人 (0.6%) の増加となった。高齢化率は 23.3%であり、平成 29 年から 3 年連続の横ばいとなった。

このうち、「65 歳から 74 歳までの人口」は 147 万 6 千人で対前年比 2 万 4 千人 (1.6%) の減少となったが、「75 歳以上の人口」は 161 万 9 千人で、対前年比 4 万 1 千人 (2.6%) の増加となった。

平成 30 年中の東京都内の死亡者数は 119 千人余りとなっており、引き続き増加の傾向にある一方、葬儀の小規模化、簡素化が一段と進んでいるが、令和元年度は特に通夜を行わない一日葬や通夜、告別式も行わない直葬の増加が目立った。

- 2 このような状況のなか、令和元年度は白木祭壇の販売促進に努めるとともに、東京福祉会の家族葬「近親葬」の PR で会葬者数の増加を図るとともに、一日葬から二日葬への提案にも積極的に取り組んだ。

この結果、助葬事業は 3,496 件と 6 年連続で 3,000 件を超えることができたが、公益事業は 1,451 件と、前年度を 59 件下回り、事業収入も 1 億 8,289 万 2 千円の減となった。

助葬、公益合わせた事業実績でみると、施行件数 4,947 件、事業収入 26 億 631 万 9 千円となった。

- 3 高齢福祉部門においては、人材の育成と施設の活性化を目的に両園の人事交流を行うとともに園長・副園長会を定期的開催し課題の解決に取り組んだ。

また、高齢福祉部門の自立経営を目指すため、9 月より職員給与を各施設にて支払うことにした。

- 4 11 月 6 日に創立 100 周年を迎え、式典や記念誌の発行、江古田斎場の大規模改修等の記念事業は無事完了した。

また、新たな 100 年への方向性を示し、着実に歩みだすための中期経営計画として策定した「経営戦略 3.3 か年計画」の 2 年目にあたる令和元年は、葬祭部門では「新納骨プラン」の販売促進や祭壇のランクアップ等の業績向上、高齢福祉部門では収入増対策や人材確保、養成も含めた経営改善等に取り組んだ。

- 5 法人全体のサービス活動収益は 39 億 4,684 万円、当期活動増減差額は 2 億 8,921 万 9 千円となった。

Ⅱ 主要事業の事業実績

1. 葬祭部門

(1) 助葬事業

施行件数：3,496 件 (目標達成率 97.7%)

事業収入：739,024 千円 (目標達成率 99.8%)

助葬事業取扱状況

(単位：件／千円)

区分	事業計画 (目標)		事業実績		目標達成率	
	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入
令和元年度	3,578	740,646	3,496	739,024	97.7%	99.8%
平成30年度	3,464	713,584	3,565	744,390	102.9%	104.3%
差異	114	27,062	△ 69	△ 5,366		
前年度対比	103.3%	103.8%	98.1%	99.3%		

斎場別内訳

(単位：件／千円)

区分	事業計画 (目標)		事業実績		目標達成率	
	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入
道灌山会館	146	30,222	156	36,879	106.8%	122.0%
江古田斎場	2,856	591,192	2,818	593,886	98.7%	100.5%
ホール多摩国立	576	119,232	522	108,259	90.6%	90.8%
合計	3,578	740,646	3,496	739,024	97.7%	99.8%

助葬事業の主な取組み

助葬事業涉外活動訪問先別件数

区分	福祉事務所	高齢福祉課	警察署	社会福祉協議会	老人福祉施設	病院	訪問介護看護事業所	後見人	合計
事業計画 (目標)	332	152	188	53	1,216	933	422	119	3,415
事業実績	1,137	159	244	68	1,185	695	563	60	4,111
目標達成率	342.5%	104.6%	129.8%	128.3%	97.5%	74.5%	133.4%	50.4%	120.4%

①福祉事務所等への涉外活動

渉外部および業務本部で都内の福祉事務所や高齢福祉課を年 2 回、延べ 1,296 回訪問し、要望や同業他社の情報把握に努めるとともに、東京福祉会の助葬事業の実績やメリットを PR した。

②警察署への渉外活動

令和元年度も警察署への渉外活動に積極的取り組み、延べ 244 回の訪問を実施し、ご遺体の長期お預かりが可能な保冷施設の完備や納骨堂等の P R を実施した。

③特別養護老人ホーム等への渉外活動

特別養護老人ホームからの葬儀依頼が年々多くなっているため、既存施設へ計画的に訪問を行うとともに、新規開設施設への渉外活動を積極的に行った。並行して有料老人ホームや訪問介護・看護事業所への渉外活動も行った。

④病院への渉外活動

都内の病院を中心に、過去の依頼実績等を精査し 695 回の訪問を行った。社会福祉法人が実施する助葬事業の特徴等を説明し理解を広めることができた。また、24 時間対応可能であることや保冷施設、納骨堂の案内のほか、助葬以外も対応可能であることなど、公益事業の案内も行った結果、病院紹介の葬儀依頼件数の増加に繋がった。

⑤社会福祉協議会等への渉外活動

社会福祉協議会等からの葬儀依頼もあることから、令和元年度も社会福祉協議会や後見人への渉外活動にも積極的取り組み、生前契約や納骨堂等の P R 等、延べ 128 回の訪問を実施した。

(2) 公益事業

施行件数：1,451 件 (目標達成率 92.0%)

事業収入：1,867,295 千円 (目標達成率 82.2%)

1 件単価：1,287 千円 (平成 30 年度 1,358 千円)

公益事業取扱状況

(単位：件/千円)

区分	事業計画 (目標)		事業実績		目標達成率	
	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入
令和元年度	1,578	2,272,486	1,451	1,867,295	92.0%	82.2%
平成30年度	1,562	2,236,699	1,510	2,050,187	96.7%	91.7%
差異	16	35,787	△ 59	△ 182,892		
前年度対比	101.0%	101.6%	96.1%	91.1%		

斎場別内訳

(単位：件/千円)

区分	事業計画 (目標)		事業実績		目標達成率	
	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入
道灌山会館	483	695,494	451	534,163	93.4%	76.8%
江古田斎場	992	1,428,728	899	1,244,264	90.6%	87.1%
ホール多摩国立	103	148,264	101	88,868	98.1%	59.9%
合計	1,578	2,272,486	1,451	1,867,295	92.0%	82.2%

※1. 道灌山会館の施行件数には、日本歯科大から依頼の献体火葬(直葬)を含む

※2. 江古田斎場の売上高には、単品の生花を含む

公益事業の主な取り組み

①会友Bプラン新規加入者 1,500人以上を目指した取り組み

「会友Bプラン特別加入制度」を中心に「事前相談」や「紹介者制度」などのほか、関係団体にも協力を依頼し会友加入の促進を図ったほか、「創立100周年記念限定会友加入キャンペーン」を実施し会友加入者獲得に努めた。その結果、令和元年度は、前年度より818名増加し1,790名となった。(平成30年度実績972名)

②東京福祉会の家族葬「近親葬」のPR

平成30年度に引き続き新葬儀プランの販売促進に努めるとともに、東京福祉会の家族葬「近親葬」を広く周知するためホームページや葬祭セミナーでPRしたほか、機関紙の東京福祉会だより「響」においても近親葬の宣伝を掲載した。また、新聞折込みやポスティングチラシ等も活用してPRに努めるとともに、一日葬から二日葬への提案も行い会葬者数の増加も図った。

③地域活動の実施

朝の地域清掃実施のほか、道灌山会館では平成30年度に引き続き道灌山感謝祭を実施し、近隣の方々からも大変好評であった。江古田斎場では近隣町会や老人会の方々へ施設を開放し、様々な催し物等でご利用頂いた。また、新たな試みとして、当会主催でフラワーアレンジメント教室を開催した。ホール多摩国立では、通学路での見守り活動(交通誘導)や防災訓練も実施するとともに、各施設とも地元主催の行事にも積極的に参加し地域の方々と交流を図った。

④葬儀のクオリティの向上

・顧客満足による収益の向上

ミーティング等で終了報告書を用いた事例研究を行い、顧客満足に関する職員の資質の向上を図り、祭壇のワンランクアップや生花数量の増加などの提案を行った。その結果、祭壇は48件のランクアップ、生花は1件平均4.5基増加となった。

このほか、江古田斎場の飲食メニューの見直しを行い、近親葬向けメニュー等を作成し顧客満足の向上に努めた。

・葬祭サービス向上作業チームの設置

サービスの標準化に向けた取り組みとして作成した、葬儀の各場面におけるQ&A集の項目を254項目まで増加し、葬祭サービスの更なる向上に努めた。

・目標管理の強化と人材育成

個人及びチームの目標管理を行い、ミーティング等で職員の意識向上を図るとともに、現場対応力強化のためラストメイクやご遺体移乗等の研修を実施し、個々の力量の底上げを図った。

(3) 霊園事業

霊園事業 事業収入の状況

(単位:千円)

区分	事業計画(目標)	事業実績	目標達成率
令和元年度	133,834	127,438	95.2%
平成30年度	129,936	140,201	107.9%
差異	3,898	△ 12,763	
前年度対比	103.0%	90.9%	

令和元年度霊園事業の事業実績は、前年度と比して12,763千円の減となった。これは主に、江古田斎場大規模修繕時の法事制限に加え、新型コロナウイルスの影響による法事、法要の減少が要因である。

2. 高齢福祉部門

特別養護老人ホームの利用実績

区分		特養	ショートステイ	特養 + ショートステイ	一般 デイサービス	認知症 デイサービス	一般+認知症 デイサービス	居宅介護支援
練馬 高松園	事業計画(目標)	96.6%	108.1%	98.3%	94.0%	70.0%	87.1%	70件(月)
	令和元年度	96.1%	100.4%	96.6%	79.2%	54.0%	72.2%	67.3件
	平成30年度	96.3%	105.8%	97.6%	85.0%	49.5%	75.1%	61.6件
	前年度対比	99.8%	94.9%	99.0%	93.2%	109.1%	96.1%	109.2%
第2 練馬 高松園	事業計画(目標)	96.6%	108.1%	98.3%				
	令和元年度	96.9%	107.2%	98.3%				
	平成30年度	94.5%	117.9%	97.8%				
	前年度対比	102.5%	90.9%	100.5%				

(1) 経営改善の推進

定期的に開催している両園の園長・副園長会に新特養建設部の職員も参加し、経営改善や委託業務などの一体的契約も含めた今後の運営についても検討を行った結果、両園とも黒字となった。また、支援の向上のためケアマネージャーや介護職の人事交流も実施した。

(2) 個別ケアの更なる充実と高齢者の尊厳の保持

①個別カンファレンスで本人や家族から要望等を伺い、フロアミーティング等で介護主任・ユニットリーダーを中心に個別ニーズを踏まえたサービスや支援方法を、随時他職種と協働しながら検討、実施した。また、主任、副主任が中心となり、朝礼等で職員行動指針を基に言葉遣い等の確認や、利用者対応の個別指導も行った。

②認知症による周辺症状等がある利用者に対し、フロア内でケア方法に関する話し合いや、専門病院などの医療機関と連携を密にとり内服薬やケア内容の見直しを行った。

(3) 人材養成の強化・人材確保

事故防止研修や看取り研修、感染症対策研修など、外部講師による専門研修のほか、認知症ケア研修や身体拘束適正化研修等 8 つの研修を両園合同で実施し、職員の資質向上に努めた。

また、福祉人材確保のため近隣高校及び養成校や大学など 23 校、再訪問も含め 64 回の訪問を実施したほか、高卒就職希望者の選択肢の一つとして加えてもらうよう、高校の先生向けの施設見学会も開催した。更に練馬区主催やハローワーク主催の就職フェア等にも参加し人材確保に努めた。

(4) 地域貢献と地域社会との交流の推進

①地域住民との相互交流のため、「まつぼっくりサロン（地域貢献事業）」を実施した。更に光が丘警察署と連携して「振り込め詐欺・アポ電強盗」防止のセイフティ教室を実施し、近隣町会や利用者家族 61 名が参加したほか、近隣学童クラブとの交流会も実施し 90 名が参加した。

また、地域へ開放的な施設運営を図るため、多目的室等の貸し出しを実施し子供向け書道教室やフラワーアレンジメントなど、10 団体の利用があった。

②災害時における対策を強化するため、三者協定総合防災訓練を実施した。光が丘消防署の協力によりはしご車を使用した実践訓練を行い 60 名が参加した。

(5) 特別養護老人ホーム（仮称）第 3 練馬高松園の新設に向けた取り組み

令和 2 年 2 月 14 日に入札を行い、2 月 17 日に株式会社片山組と工事請負契約を締結した。2 月 20 日に住民説明会を実施し、2 月 24 日の安全祈願祭後に工事着工となった。

3. 自立支援事業の実施

東京都、特別区、自立支援センター等と連携し、路上生活者の地域生活のための住宅を借り上げ、管理する事業を行った。

令和元年度の住宅の借上げは前年度同様に 2 箇所合計 60 戸だった。

借上げ住宅 利用状況

令和2年3月末現在

項目	台東寮 (有隣協会)	足立寮 (新栄会)	合計
借上げ戸数	30戸	30戸	60戸
在所者数	3名	15名	18名
平均在所日数	54日	46日	50日
平均年齢	48歳	49歳	49歳

4. 創立 100 周年記念事業

(1) 100 周年記念式典・祝賀会

令和元年11月6日の創立記念日に記念式典及び祝賀会を実施し、式典に212名、祝賀会に210名参加した。

(2) 記念誌の発行

記念式典の内容も織り込んだ100周年記念誌が3月下旬に発刊し、4月に式典・祝賀会参加者に発送した。

(3) 役職員及び家族向けクルージング実施

役職員及びその家族の方々への感謝と創立100周年を祝うイベントとして、令和元年7月28日にクルージングを実施し、144家族277名が参加した。

(4) 創立 100 周年に向けた施設整備及び設備の充実

創立100周年記念事業の一環として、江古田斎場大規模修繕を行い第一会館の外壁、外部塗装、2階トイレ新設工事等を実施したほか、第2練馬高松園の玄関ロビーの間仕切りの撤去も実施し8月までに全ての修繕工事が無事終了した。

5. 組織・経営基盤の強化

(1) 内部統制、企画調整機能の充実とその発揮

①葬祭部門における見積書の承認決裁から発注や請求、収入計上等の一連の事務手続き及び統制手続きを収入サイクル要綱として制定した。また、「特別養護老人ホーム（仮称）第3練馬高松園新築工事の入札」などの事務局を担い、適正な契約手続きを支援した。

②7月に実施した自己点検結果を踏まえ、模擬監査を兼ねた自己検査を全所属部署対象に実施した。

(2) 職員研修の充実

会計、出納事務の体制や会計に関係する規程への理解を深めるため、令和元年度研修計画に基づき会計研修を実施した。

(3) 安全運転対策の充実

後退時の事故撲滅への取り組みとして、葬祭部門及び高齢福祉部門の車両にコーナセンサーを取り付け接触事故の減少に努めた。

また、運行管理体制充実のため、運行管理者試験での増員を目指したが、新型コロナウイルスによる影響で中止となり今年度は3名の増員となった。

6. 法人全体の財務状況

令和元年度における事業活動増減の状況は、サービス活動収益は3,946,840千円で、前年度に比して189,760千円の減となった。サービス活動費用は3,661,702千円で、前年度に比して31,210千円の減となった。その結果サービス活動増減差額

は 285,138 千円となり、前年度に比して 158,551 千円の減となった。

なお、経常増減差額は 315,664 千円となり前年度に比して 159,509 千円の減となっている。

事業別 事業活動増減の状況(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(単位：千円)

項目	令和元年度									平成30年度 法人合計 B	増減 A-B
	法人合計 A	本部	葬祭事業	自立支援 事業	練馬高松園	第2練馬 高松園	聖恩山霊園	(仮称)第3 練馬高松園			
活動サー ビス 増減	収益	3,946,840	1,000	2,647,381	63,004	678,230	425,559	127,438	4,425	4,136,600	△189,760
	費用	3,661,702	81,101	2,336,311	61,326	672,722	419,906	78,444	12,090	3,692,912	△31,210
	増減差額①	285,138	△80,101	311,070	1,678	5,508	5,653	48,995	△7,665	443,689	△158,551
活動外 増減	収益	39,478	4,043	29,196	0	3,499	2,673	67	0	42,722	△3,244
	費用	8,952	0	1,000	0	2,759	5,193	0	0	11,238	△2,286
	増減差額②	30,526	4,043	28,196	0	740	△2,520	67	0	31,484	△958
経常増減差額③(①+②)	315,664	△76,058	339,266	1,678	6,248	3,133	49,062	△7,665	475,173	△159,509	

注1. 千円未満四捨五入のため合計等が一致しない場合がある。

事業別 資金収支の状況(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(単位：千円)

項目	令和元年度 決算									令和元年度 予算 事業合計 B	差異 B-A
	事業合計 A	本部	葬祭事業	自立支援 事業	練馬高松園	第2練馬 高松園	聖恩山霊園	(仮称)第3 練馬高松園			
事業 支活動	収入	3,986,316	5,043	2,676,577	63,004	681,728	428,231	127,506	4,425	4,410,017	423,701
	支出	3,443,948	81,101	2,170,754	61,448	653,482	397,687	67,585	12,090	3,799,252	355,304
	収支差額①	542,367	△76,058	505,823	1,557	28,246	30,544	59,920	△7,665	610,765	68,397
施設 整備 支	収入	393,052	0	198	0	12,650	3,600	0	376,604	379,865	△13,187
	支出	559,958	0	65,838	0	38,060	33,906	0	422,153	641,176	81,218
	収支差額②	△166,906	0	△65,640	0	△25,410	△30,306	0	△45,549	△261,311	△94,405
活動 その他 支	収入	675,245	553,000	114,315	2,430	0	0	5,500	0	739,017	63,772
	支出	894,849	100,000	215,436	2,430	443	0	7,346	569,193	800,821	△94,028
	収支差額③	△219,604	453,000	△101,121	0	△443	0	△1,846	△569,193	△61,804	157,800

注1. 内部取引消去をしているため、拠点合計と一致しない。

注2. 千円未満四捨五入のため合計等が一致しない場合がある。